

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス	アコライト	Lv.1:	アコライト	性別	女
称号クラス				年齢	15
種族	エルダナーン			境遇	師匠
出自(効果)	学者			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	7	8	9	12	7	12	7
ボーナス	2	2	3	4	2	4	2
クラス修正	0	1	0	2	1	2	0
他修正							
能力値	2	3	3	6	3	6	2

HP	28
MP	47
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部	ハット					1			
胸部	クロスアーマー					3			
補助									
装身具	グリモア								
能力値			3	0	3	0	6	6	7
スキル									
その他									
総計(右)			3	0					
総計(左)			3	0	3	4	6	6	7
総計(両)			3	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	6			6	+ 2 d
アイテム鑑定	6			6	+ 2 d
魔術判定	6			6	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ベルトポーチ	
冒険者セット	
MPポーション	
MPポーション	
HPポーション	
バックパック	

現在重量: 8
 最大重量: 14
 所持金: 預金・借金: 15

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フォティテュード	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果: 作成時に最大MP+5								
マジシャンズマイト	1	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SL]D6する。								
コンセントレイション	1	-	パッシヴ					
効果: 魔術判定に+1D6する。								
マジックブラスト	1	4	マイナー					
効果: メインプロセスを行う魔術の対象を範囲(選択)に変更する								
アンデッドペイン	1	6	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: 魔法攻撃。ダメージは3D6+5の貫通ダメージとなる。また対象が「分類: アンデッド、人造生物、機械」の場合、[ロックバック(2)]を与える								
ビリーブ	1	-	パッシヴ					
効果: 《アンデッドペイン》の効果に+[SL*4]する								
アイデンディファイ	1		パッシヴ					
効果: アイテム鑑定に+1D6								
スティグマ	1	1F	判定の直後	-	自身	自動	1/シナリオ	
効果: 判定を行った後で、その達成値を+1D6できる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

《ライフパスより設定》
 魔術研究をする母を持つ女の子。
 生まれたころのメアにはそれほど魔術に対する適正は無く、エルダナーンの中では落ちこぼれとまで呼ばれていた。
 仕事熱心な母は、どうにか娘に魔術運用の力を与えようと、子育てを放棄してまで研究に没頭する。
 父は魔術知識のない一般市民だったが、母の研究の手伝いをするなかで知識を身につけメアが物心つく前には共働きとなる。
 そんな日々の続き、メアが8つになったある日、母は完成したと思われる術式を用い、メアに魔術素養の転用を試みる。父は未完成であると豪語し反対していたが、母に説得され立会う代わりに実験を了承。翌日、実験が行われた。

結果、メアには並み以上の魔術素養が備わることとなりその証となる紋章が身体に刻まれた。が、未完成だったのかそれ以外の原因か、爆発により研究所ごと崩壊する。
 致命傷を負いつつもメアは一命を取り留めるも、父はその崩壊の下敷きとなり死亡が確認された。しかし母は現場では見つからず、至近距離でも爆発で亡くなったも生き残ってどこかで研究を続けているともうわさされている。

その後、数ヶ月間治療をリハビリ、魔術素養の確認が行われ、その間に内親を亡くしたメアを引き取る家庭が決まる。
 その一家は研究所に投資していた資産家で、裏で行われていた危険な研究に脅威を覚えた一家の当主が、元来の引き取り手であった研究員の一人から親権を変更した。
 その家庭で普通の子供として育てられつつ、魔術や戦闘の教育を受ける。
 子どもとして多感な時期を本来の両親には愛情をもらえず、さらにその両親の死をマジカで見聞きし、その後は誰とも知らぬ家で育てられるという環境に置かれた。
 そのため、感情表現がすくなく、めったに話すこともない。
 無感情で無感動で無表情な女の子。